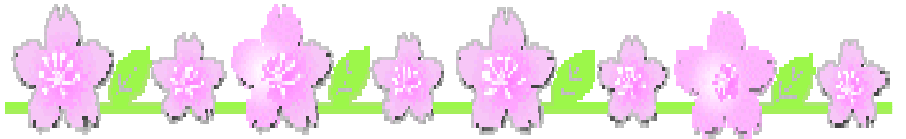




# 大島くるみ病院だより



## ★シリーズ企画第1弾★

## ＜メタボリック症候群＞

院長 長堀 毅

メタボリック症候群って何だ？一体、テレビや新聞は、何であんなに騒いでるんだ？と、分からない方は、沢山いらっしゃると思います。広報委員会では、今話題のメタボリック症候群をシリーズ化してとりあげることになり、今回は第一弾です。まず導入編です。

### メタボ問題の社会的背景

食生活が欧米化・贅沢化し、運動量が減った結果、肥満の人が増えています。一方、医療保険・介護保険の財政状況が逼迫していることは、日々のテレビや新聞で繰り返し報道されています。介護保険については、介護給付を減らすために、要介護状態になる前の支援を重視するようになってきています。要介護の原因は、脳卒中が最も多く、脳卒中の予防・治療は単に介護の問題だけではなく、社会経済的にも大きな課題です。医療保険も同様で、医療経済的に高くなる脳卒中や心筋梗塞対策は、少子高齢社会の保険財政を維持するためにも重要な課題です。

### メタボリック症候群の医学的背景

高血圧・糖尿病・高脂血症は、内臓脂肪を背景として、同じ人に同時に起こる事もあることが分かってきました。これをメタボリック症候群といいます。言ってみれば、動脈硬化性の病気（脳卒中や心筋梗塞など）の元凶が、内臓脂肪という同じ隠れ家から現れて揃い踏みしたようなものです。三悪揃い踏みになった人は、将来寝たきりになる危険性が高いことが問題です。

これまでは、高血圧・糖尿病・高脂血症は、それぞれが独立した病気として、別々に治療されてきました。しかし、メタボリック症候群の人では、内臓脂肪をやっつければ、三悪を一網打尽に退治できる可能性が高いという特徴があります。

### メタボリック症候群の定義

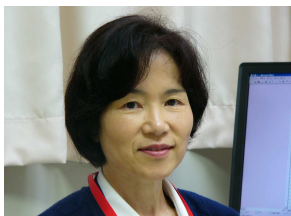
太っていることが、一番大きな定義です。ウエストが男 85cm、女 90cm 以上の人は、メタボの危険性があります。太っている人に、高血圧・糖尿病・高脂血症のうち 2 項目以上の異常が見つければ、メタボリック症候群と診断されます。

### メタボリック症候群への取り組み

従来の健康診断をやめて、「特定健康診断」という名前でメタボ健診をすることになりました。これまでの健康診断の様は、市町村や職場が実施していましたが、これからは、各個人の所属する健康保険組織が実施することになります。お年寄りや自営業者などの場合は、国保が健診の実施責任者になり、サラリーマンの場合は各健康保険組合が実施責任者です。健康保険組合では、メタボの人の割合に応じて罰金が課されることになります。

また、メタボまたは予備軍と診断された人には、保健指導が行われます。最初に「このままメタボでいると、寝たきりになりますよ」と動機付け指導され、「痩せましたか？」と、定期的に手紙や電子メールが来ます。最後に…とにかく必要以上に太らないことです。太った人はやせて下さい。皆で頑張りましょう。

## 〈看護・介護部長の紹介〉



はじめまして看護・介護部長の山岸芳美です。南3階の医療病棟の師長をしています。早いもので富山の地に引越し、くるみ病院に就職して気がついたらもう7年余りの年月が過ぎていました7年前と比べると世の中の情勢や医療の状況が変わっています。

以前はご自分で歩行が可能な患者様もいらっしゃいましたが、現在入院されている患者様のほとんどの方が要介護4か5の方で、ご自分で動くことが出来なかつたり困難だったり、日常生活の大部分に介助を必要とされる方が多く私達介護者のケアのあり方がとても重要になってきています。療養病院での入院生活を気持ちよく安心して過ごして頂き又安らぎを感じてもらうにはどうすればいいか、ご本人のご意向を聞けないことも多く、ご家族の方からのご意見を頂けたらありがたいです。日々の業務に追われることなく患者様の気持ちに沿ったケアを提供することを目標に今後も看護・介護スタッフ共に頑張っていきたいと思っています。

# ☆新車両紹介☆

最大10人の患者様をお乗せできる

新車両がきました。



この度、通所リハビリテーションの拡張に伴い、利用者様も増えたため、新しくワゴン車を購入しました。これで送迎時の混雑も、少しは和らいだ様に思います。



安全運転で  
頑張ります。  
(\* ^ - ^ \*)



# 南2階レクリエーション風景

南2階では、毎週日曜日の午後から、1時間程、患者様と、コミュニケーションやリハビリの一環として、天気の良い日には、当院の周囲を散歩したり、院内で、玉遊びや、ぬりえをして楽しんでいます。



3月30日は、お化粧をしました。皆さん照れながらも、楽しそうに、鏡を見ながら身だしなみを整えておられました。

お嬉しいがにな  
とんねえ



# 委員会紹介

今月号は、医療安全委員会です。



医療事故の防止や、事故発生時の適切な対応と再発防止策を確立するために、日頃の情報収集や分析・対策立案を行なっております。又、病院職員の安全への意識を高める為に、年2回の研修会を計画・実施しています。患者様と接していてヒヤッとしたことや、ドキッとしたときには、「ヒヤリハット」を書いて、繰り返さないように、スタッフ同士で話あっています。

今後も利用者の皆様に安全で安楽な療養生活を送って頂くために、病院全体で事故防止に取り組んでまいります。



# お知らせ

- 4月から75歳以上の方(65歳~74歳で一定の障害の状態にある方)を対象とする後期高齢者医療制度がスタートしました。対象となる方には、一人ひとりに保険者証が交付されますので、当院の窓口へ提示をお願いします。

# (編集後記)

春と言えば、新卒者が入ってくる季節！フレッシュで希望いっぱい。見ているこちら何年前の自分と重ねてみたりして…。しかし現実、マナー・身だしなみ・社内ルール・人間関係・etc...と色々悩みも出てくると思っています。でも、とにかく明るく頑張っ

て欲しいものです。来月号に新卒者の紹介をしてみたいと思っています。皆様どうぞ期待！

# 基本理念

患者様の生命と人権を尊重した医療と介護に努めます。信頼され安心して利用される施設・在宅支援サービスを提供します。地域と連携し高齢者医療の中核病院を目指します。

職員は常に自己研鑽に励み、医療・介護の質の向上に努力します。 平成18年4月1日改定

# 運営指針

- 1 私たちは、思いやりの心をもって利用者の方々への自立支援を行います。
- 2 私たちは、感謝の気持ちをもって、利用者の方々に接します。
- 3 私たちは、小さな努力を一步一步積み重ねて、利用者の方々の笑顔を得たいと考えます。
- 4 私たちは、利用者の方々の長年の苦勞に敬意をはらって、介護サービスをいたします。
- 5 私たちは、利用者の方々からのご意見、ご提案に耳を傾けます。
- 6 私たちは、入所・入院しておられる方々に医療情報を積極的に公開し、安心と納得の医療に努めます